

5 - 11 御前崎における絶対重力変化 Absolute Gravity Change at Omaezaki

国土地理院
東京大学地震研究所
Geographical Survey Institute
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

[1] はじめに

駿河湾地域の重力変化の監視を目的として、国土地理院と地震研究所は協力して、御前崎町において絶対重力測定を実施している。前回報告¹⁾の測定結果に、新たに実施した1997年9月及び12月の測定をまとめた。

[2] 測定について

測定地点は国土地理院・御前崎地殻活動観測場の基準重力点である。

使用器械は Micro-g Solutions 社製の絶対重力計 FG5，シリアル番号は国土地理院は#201，地震研究所は#109 である。

第1図及び表1に過去7回の測定結果，表2には各種補正・補正情報をまとめた。

参 考 文 献

1) 東京大学地震研究所・国土地理院：御前崎における絶対重力変化, 連絡会報59(1998), 353-354.

表1 御前崎における絶対重力値

Table.1 Absolute Gravity Value at Omaezaki

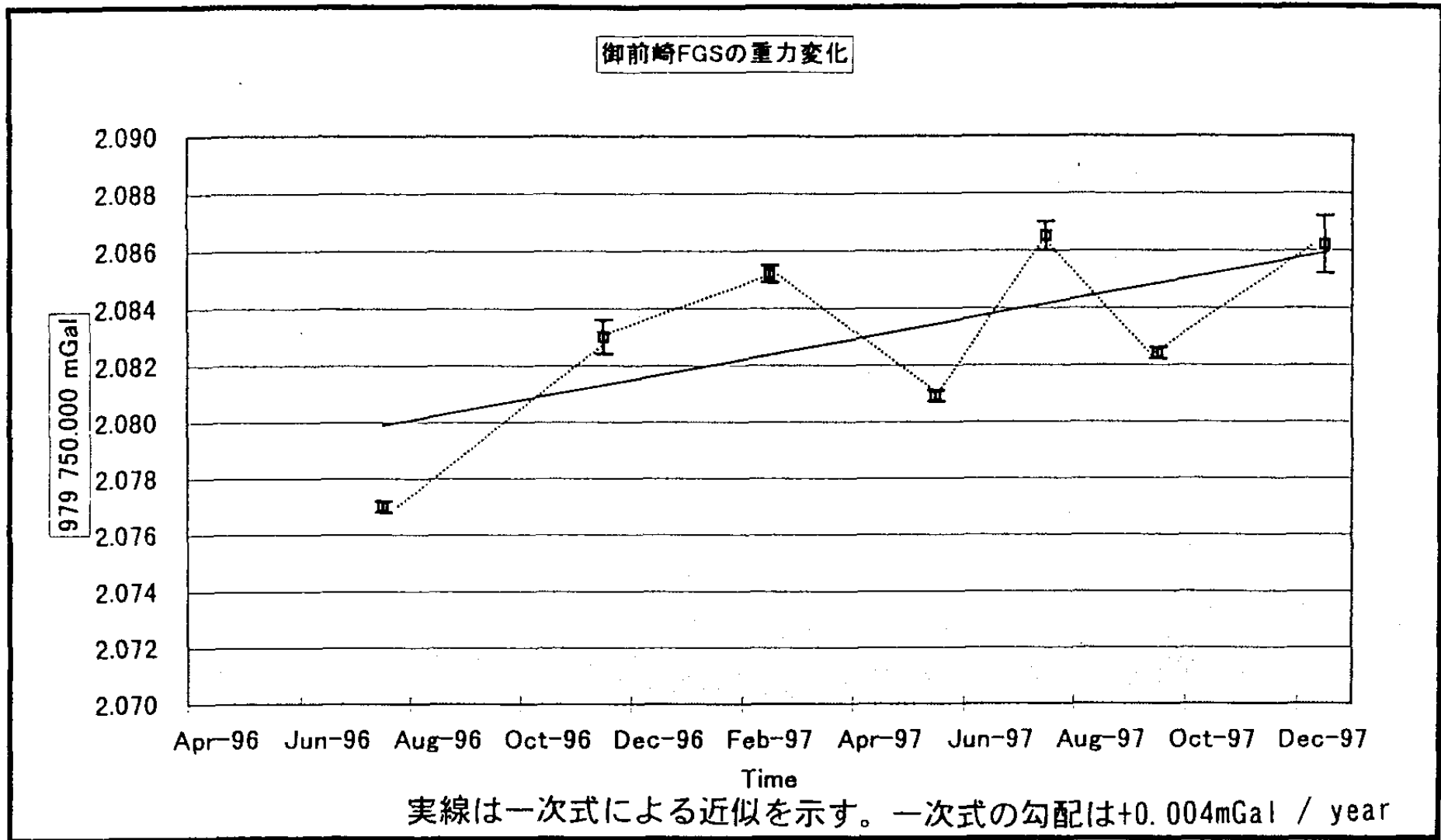
単位：mGal

測定年月	機械番号 (実施機関)	絶対重力値	有効落下数	標準偏差
1996年7月	#201 (GSI)	979 752.0770±0.0002	16,611	0.0272
1996年11月	#109 (ERI)	979 752.0830±0.0006	6,467	0.0451
1997年2月	#201 (GSI)	979 752.0852±0.0003	10,142	0.0304
1997年5月	#201 (GSI)	979 752.0809±0.0002	21,758	0.0230
1997年7月	#109 (ERI)	979 752.0865±0.0005	15,937	0.0684
1997年9月	#201 (GSI)	979 752.0824±0.0002	17,895	0.0277
1997年12月	#109 (ERI)	979 752.0862±0.0010	5,585	0.0733

表2 観測補助データ

Table.2 Auxiliary Information

測定点	御前崎FGS
緯度, 経度, 標高	34.6006° N, 138.2289° E, 6 m
器械高	重力値は基準標上に整約した値ではなく, 器械高=基準標直上130.0cmでの値. 鉛直重力勾配 $dg/dh = -0.2552 \text{mgal/m}$
固体潮汐 δ ファクター	1.164 (ただし, 永久潮汐については1.0)
気圧補正	アドミッタンス 0.3microgal/hpa , 標準大気圧 1012.53hpa
極潮汐補正	IERS Bull. B, δ ファクター=1.164
海洋潮汐補正	ERI値はSchwiderskill 8分潮で補正. GSI値は補正なし (最終重力値への影響は1マイクロガル以下)
処理ソフト	Olivia Ver. 2.2



第1図 1996年7月以降の御前崎FGSの絶対重力変化
 Fig.1 Absolute Gravity Change at Omaezaki since July 1996.